

認知症カフェオープン

静岡市内初 音楽や交流楽しむ

認知症の人やその家族、住民らが集まり会「オレンジカフェ静岡」



読み語りに聞き入る参加者＝静岡市葵区の「城東コミュニティプラザ ハピスポ」

が17日、静岡市葵区の「城東コミュニティプラザ ハピスポ」にてオープンした。約50人が集まり、音楽や読み語りを楽しんだ。同市内で認知症カフェの開設が初めて。運営するNPO法人ヒューマン・ケア支援機構の松田純理事長は「引きこもりがちの人や、介護に悩む家族の方に気軽に来たい」とあいさつした。店長を務める床心理士の小島孝子さんも「家族以外の人と話すことが脳の活性化につながる」と利用を呼び掛けた。来場者は交流だけでなく、ケアマネジャーら専門家と話したほか、音楽や読み語りのコーナーにも自由に参加した。カフェは毎月第3日曜日午後2～4時に開かれる。